



Septem Flores (7種類の花)

天気図の色が、黄色からオレンジ、そして真っ赤に変わる頃、洗練された旅人たちは、涼しい場所を求めて北に目を向けます。マックスマラはスカンディナビアの洒落た都市やデザインに居心地の良さを感じ、叙事詩のような自然の風景や、神秘と魔法に包まれたフォークロア（民俗）により、新たな次元へと導かれます。

スカンディナビアの先進性は、はるか昔に遡ります。ヴァイキングは、歴史的にその容赦ない略奪で知られていますが、一方、北欧でジェンダー平等の種をまいた存在でもありました。スウェーデンのクリスティーナ女王は、ジェンダーという言葉が存在する前から女性解放論者のアイコンでした。19世紀に巻き起こる「女性解放」という波の、はるかに前のことです。スカンディナビアにおいては哲学的概念があらゆる文化を豊かにしました。劇作家の Henrik Ibsen（ヘンリック・イブセン）は自らを女性解放論者と主張したことはありませんが、厳格で重苦しいブルジョア環境の圧力に反発する家族を描写した戯曲で「新しい女性」を生み出し、称賛されました。

Selma Lagerlöf（セルマ・ラーゲルレーヴ）は、本コレクション全体に流れるすべての糸をつなぎ合わせたような人物です。1858年にスウェーデンの裕福な家庭に生まれた彼女は、当時の堅苦しい価値観とは相対する思想を展開しました。作家として女性の役割やセクシュアリティについて時代の先を行く考えを持ち、社会的な変化と進歩を唱えました。イブセン、ムンク、ニーチェ、キルケゴールなどに強く影響を受け、現代のメトロポリタンな自己を形成するためにスカンディナビアが貢献したことを表しています。現代的な生活、地域の伝説、古典的な神話、おとぎ話のモチーフなどを練り上げた物語を紡ぎました。1909年にフォークロアというヘリテージをスカンディナビアの文化に再統合することで、ノーベル文学賞を受賞した最初の女性になりました。

本コレクションでは、1900年代の無骨に直立したテーラードシルエットから、モダンな印象のジゴスリーブ、くるぶし丈のスカート、ひじ丈のケープ、ボウタイと合わせるスマートなブラウスを提案。対照的に、黒やアイボリーのブレード、ポンポン、タッセル、スタッズなど、民族的なモチーフを取り入れたチュニックが、ロングとショートで登場します。フォークロアブラウスを直線的でモダンなファブリックでカットし直し、余計な装飾を削ぎ落とすことで、驚くほどのモダニティが生まれます。

ミッドサマーは、夏の訪れを祝う民俗祭です。最も魅力的な伝統のひとつが、7種類の野の花を集める Septem Flores（セプテム・フローレス）です。7種類すべての花を見つけた幸せ者は、それを枕の下に置いて眠ると、将来の恋人の夢を見られるという言い伝えがあります。ハーバリウムの繊細な水彩画からインスピレーションを得て、マックスマーラは花々に改めて注目しました。ミッドサマーの草原のようにカラフルな絵の具を散りばめたコレクションは、夢のような夜のための浮遊感と、都会のスマートさを感じさせる白いグラフィックカラーやカフスが特徴です。

#MaxMara

#MaxMaraResort24